

地域連携のお知らせ



看護フェアを開催しました
去る5月12日(水)、恒例の石川病院看護フェアが隣接の主婦の店別所店様の店舗入り口横にて今年も執り行われました。



多数ご参加くださいまして、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願いします。

地域健康教室予定

※開催場所は7月より東館6階食堂です。

- ・7月10日（土）14時～
「誰でもできる心肺蘇生（BLS）」 講師：石川病院 看護師
- ・9月11日（土）13時～
「生活習慣病予防の食生活」 講師：石川病院 管理栄養士
たくさんのご参加をお待ちしております



石川病院外来診察時間表											平成22年7月5日～		
内科		外科		整形		脳外		耳鼻咽喉		泌尿器		リハビリ科	ペインクリニック
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前			
受付	7～12 3～5時半	7～12 3～7	7～12 3～6	2～4		予約制			9～11:30	予約制	予約制		
診察	9～12	9～12 3～7	9～12 4～6			10～12 1～4	10～12時半	2～4	9:30～				
月	金岡	小山	内田	今脇 6時	山本 本館	山本 南館	平田総 予約診 膝関節外来	藤田		石川智			
火	小山	加古	中島	照喜納 本館				初診 受付 11～ 12時	佐地	佐地	寺本 予約 10～12時		
水	金岡	加古	中島	今脇 6時	戸田 本館				佐地	石川智			
木	高旗 9時半～12時半 予約制	高旗	岡大	岡大 6時	鈴木 本館	鈴木 本館	藤田			寺本 予約 15～17時			
	金岡	小山	平田	中島		受付3時～5時半 診察3時～6時	初診 受付 11～ 12時						
金	小山	金岡	石川	今脇	戸田 本館			佐地	佐地		大城 予約14時～		
土	日下 (隔週)		岡大	岡大	平田	安藤予約診 一般3～5時 学生診 受付4～5時 診察5～6時 石川音 隔週		第1・3	第1・3	石川智			
								佐地	佐地	中野			

せせらぎ通信

[第34号]

[2010年7月1日発行]

〒671-0221 姫路市別所町別所2丁目150
TEL(079)252-5235 石川病院 広報委員会
発行責任者 事務長 三枝孝弘

地域のために 思いやりと
信頼性の高い 治療・看護を目指す

=今年も新しいスタッフが仲間入りしました=

濱田 晃洋（理学療法士）
4月1日から理学療法士として石川病院に勤務させていただくことになりました。濱田晃洋と申します。一度社会に出て、理学療法士の専門学校を経て、二度目の社会人としての出発ですが1日でも早く患者様に喜んでいただける理学療法士になれるよう精進致します。



4月1日入職式

北越 理可（看護師）
目標：いつも笑顔で率先して挨拶を行う。解らないことは先輩方に質問し、放置しない。一日でも早く、戦力となるよう頑張ります。ご指導よろしくお願いします。



新人研修風景



ハイ、チーズ

横山 美咲（看護助手）
これから先、どんな困難があっても患者様のことを第一に考え、治療・看護を目指して行きたいと思います。



前田 佳恵（言語聴覚士）
言語聴覚士の前田佳恵です。入社における抱負は元気で明るく挨拶することです。目標は患者様に適切な評価・訓練を行うことと、親しみやすいSTになることです。解らないことばかりですが早く素敵なお医療士になれるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



トピックス

【石川病院泌尿器科からのお知らせ】



石川病院泌尿器科の石川智基です。2000 年神戸大学医学部を卒業後、神戸大学病院にて一般泌尿器科臨床研修終了後、米ロックフェラー大学やコーネル大学、その後神戸大学を経て、豪モナシュ大学、と日本・米豪 3 カ国で男性不妊症ならびに一般泌尿器の診療・研究に従事して参りました。当科を紹介させていただきます。

日本はますます高齢化社会になり、泌尿器の病気で悩まれる方もますます増えていくことと思います。いっぽう小児や若年者の泌尿器科疾患に対する診療も今まで以上に大切なことも言うまでもありません。泌尿器科は近年の医学進歩のなかで急速に発展している分野です。尿路腫瘍(腎、腎盂、尿管、前立腺、膀胱など)、不妊症、性機能障害、腎移植・透析、小児泌尿器科、排尿障害、女性泌尿器、尿路感染症、尿路結石など広い分野をカバーしています。人口の高齢化に伴い、前立腺癌、前立腺肥大、尿失禁、婦人尿路疾患の患者は著しく増加しています。

石川病院泌尿器科では様々な泌尿器科の病気で悩まれている方に対応でき、最良の医療を提供できるようなスタッフ、設備をめざして文字どおり日夜診療に励んでいます。とくに石川病院泌尿器科では、男性不妊症、排尿障害や神経因性膀胱(膀胱の機能障害)などの診療に力を入れています。

「尿が上手く出ない、尿がちかい、尿がもれる」などの症状がある方へ

尿が上手く出ない、尿がちかい、尿がもれるなどの症状はつらくても他人にはなかなか言えない症状です。しかしこれらの症状はきわめて多くの方がもっておられ、重要な病気の始まりのこともあります。こういった症状から診断、そして治療方針を決定することは時には非常に困難で重要なこともあります。このような症状をもつ方は老年の方から幼児、女性男性に限らず多様です。

これらの症状から見つかる病気には、薬物治療、理学療法、手術療法など様々な治療法を使い分ける必要があります。当科ではこういった症状で悩まれる方にも気軽に外来を訪れて頂きたいと思っています。これらの排尿に関する専門医の指導の下、当科の医師を含めたスタッフ全員が排尿に関する諸症状に対応できるようにしています。

「なかなか子どもができない」方へ

結婚後 2 年間、特別に避妊をしていないのに妊娠しない場合は不妊症と定義されます。日本では 8 組から 10 組に 1 組が該当しますが、そのうち医療機関を訪れるのは大半が女性で、来院する男性は 1 割にも満たないのが実際です。WHO (世界保健機構) の調査では不妊症の原因は 41%が女性、24%が男性、24%が男女双方、11%が原因不明です。つまり不妊の原因の半分近くに男性が絡んでいるのです。しかしながら一般に不妊の原因は主に女性にあると考えられており、実際に男性はなかなか病院には行かないものです。

確かに 10 年ほど前までは、射出精液の中に精子が確認できない無精子症の男性は子どもを持つことはできないとされていましたが、今では決して諦める必要はないのです。無精子症には、閉塞性と非閉塞性とがあります。閉塞性は精巣で精子が作られていても精路の詰まりなどで体外に排出されない症状。手術で詰まりを解消すれば完治します。一方、非閉塞性は根本的な治療法はないが、精子が造られる大元である精巣を切開し、手術用顕微鏡を用いて精子を探し、採取できればその精子を妻から採取した卵子に顕微授精する方法がある。この顕微鏡下の精巣精子採取術は 90 年代終わりに米国で始まりました。現在、日本でこの手術ができる専門医は、ほんの 20 人程度です。当科では本術式を非常に得手としており、日本はもとよりアジア各国はじめ世界中の医師や患者から問い合わせがあります。非閉塞性無精子症でも、この手術をすれば 45%程度は精子採取が可能です。

まず「子どもがなかなかできない」と思えば、夫婦そろっての専門機関受診をお勧めします。男性因子において、当科は最先端の情報を提供できると自負しております。

今後も関西地区にこだわらず、日本、世界レベルでもトップレベルの手術成績を収め患者の方々には手術や治療のつらさを最小におさえられるよう努力したいと考えています

最後にここに挙げた病気だけでなく、他の疾患に関しても最良の診療ができるようスタッフ一同、全力を尽くします。

サンデー毎日 2009.11.1号

The newspaper clipping is from the Sankei Shimbun, dated November 1, 2009. The main title is "第一人者が語る 男性不妊の心得" (What I Learned About Male Infertility). The text discusses the challenges of male infertility and the importance of early diagnosis and treatment. It also mentions the success of microsurgical sperm retrieval (TESE) for non-blocked male infertility.